

## ○令和7年度 児童アンケート結果より

項目1「学校生活は楽しい」では、『よくあてはまる』『ややあてはまる』と肯定的な回答をした児童の割合は、96.0% (R7)と昨年度に引き続き9割以上の児童が肯定的な回答をしていました。今後も、児童にとって学校が楽しいところになるように、授業改善や人権教育の充実、いじめの防止、学校行事のさらなる工夫などに継続して取り組んでいきます。

項目2「授業はわかりやすく楽しい」では、肯定的な回答の割合が、90.4% (R7)となり、昨年度より0.7ポイント増加していました。項目3「自分の勉強の力は上がっていていると思う」は、肯定的な割合が84.9% (R6)から87.1% (R7)と2.2ポイント増加していました。項目4「授業中は、思ったことや考えたことを進んで発表している」でも、肯定的な割合が53.2% (R6)から65.3% (R7)と12.1%増加していました。今後も引き続き、児童一人ひとりの良さを認め合い伝え合って自己肯定感を高めることや、「教室はまちがうところである」を全校で指導し、自分の考えたことを進んで発言したり、友だちの意見と比べながら聞いたりする力を育てる等、学力向上に向けた取組を進めて参ります。

項目5「家でもほぼ毎日学習している。」は、肯定的な割合が70.2% (R7)と昨年70.1% (R6)とほぼ変化がありませんでした。学力向上には、自ら意欲的に継続して取り組むことが必要です。引き続き、目的を明確にした家庭学習の習慣が身につくよう取り組んでいきます。

項目6「読書や読み聞かせの時間は楽しい」では、肯定的な回答が87.8% (R6)から91.0% (R7)へと増加しました。おはなしくれよんのみなさまの読み聞かせの時間は子どもたちにとって楽しい時間となっています。引き続きよろしくお願ひします。

項目9「自分はいじめ防止を進んでできている」では、肯定的な回答が80.0% (R7)と、昨年度の83.7% (R6)を下回りました。項目8「掃除の時間はだまって丁寧に掃除をしている」の値は、83.4% (R7)と、昨年から7.1ポイント増加しました。いじめ防止や掃除を通して、他者とつながりのなかで、協力したり、自己の役割を果たしたりしながら、勤労意欲や公共心を養い、豊かな人間性をもつ子どもを育てていきます。

項目10「友達はやさしくしてくれる」、項目11「いじめや仲間はずしをしないで誰とも仲良くできる」、項目12「なんでも相談できる先生や友だちがいる」では、肯定的な回答の割合がそれぞれ9割を上回っており、昨年度よりも増加しています。今後も人権教育を大切にしていきます。特にいじめについては、「いじめ防止」の授業を定期的に行うこと、毎日の生活観察はもちろんのこと、時機に応じた『学校生活アンケート』を実施することで早期発見に努め、今後も迅速かつ適切な対応を行っていきます。

項目13「運動会や遠足などの行事や校外学習・地域の人に教えてもらう学習は楽しい」では、肯定的な割合が95.7% (R7)と、昨年度97.2% (R6)に引き続き高い値でした。項目7「あいつこの時間が好きだ。生活科が好きだ」では肯定的な回答の割合が94.1% (R7)で、前年度より0.9%増加しました。藍住南小学校らしさを生かした特色ある教育活動を今後もしっかりと展開していきます。

項目14「外遊びや体を動かすことを進んでしている」では、肯定的な割合が81.9% (R6)から84.8% (R7)と2.9%増加しています。今後も、運動の重要性を伝え、体力向上の指導・支援に継続して取り組んでいきます。

項目15「給食は好き嫌いせず、できるだけ残さず食べている」では、肯定的な回答が81.9% (R7)で、前年度より0.6%減少しました。食育やSDGsの取組を進めていくなかで、好き嫌いをせず給食を食べるよう指導をしていきます。

項目16「ゲームやSNS・携帯電話等・スマホについてお家の人と話し合っただけルールを守っている」では、肯定的な回答の割合が89.2% (R7)で、昨年度よりも2%増加しております。普段のインターネット・SNS使用のルールについて、学校での指導を継続するとともに、保護者の皆様にも引き続きご協力をいただきたいと思います。

項目17「地震や火事などのとき、また、不審な人が現れたときなど、危険から身を守ることに教わった」、項目18「交通のルールを守って安全に行き来できている」では、肯定的な回答の割合はそれぞれ9割以上と高い値でした。しかし、交通ルールについては、現状をみてみますと道路や横断歩道の通り方において危険を感じる場面も少なくありません。普段から正しい道路の歩き方や自転車の乗り方など、引き続き指導を行っていきます。保護者の皆様には、登校時に交通指導を行っていただき、感謝をしております。今後も子ども達の安全のためによりしくお願いいたします。

今後も引き続き、予測困難な社会の変化に対応し、持続可能な社会の創り手としての子どもを「やさしく かしく たくましく」育てることを目標として、学校教育に取り組んでいきます。